B-LCL-HROC277

300867

□要

□明

B-LCL-HROC277□、成人患者の腫瘍組織また□末梢血から分離したBリンパ球を起源とする、エプスタイン・バーウイルス（ EBV）不死化ヒトBリンパ芽球様細胞株である。 本細胞□ ′ T細胞およびNK細胞の増殖を抑制するシクロスポリン Aの存在下で、マーモセット由来B95/8細胞株から得られたEBV含有上清によるex vivo感染により樹立された。数週間の培養後、安定したリンパ芽球様細胞の増殖が達成され、長期的な in vitro増殖に適した持続的に増殖する単クローン性また □寡クローン性のB細胞集団が得られた。
免疫表現型において、B-LCL-HROC277□CD19およびCD20の発現に加え、CD23やCD80などの高レベルの活性化・成熟マーカーを特徴とする成熟・活性化 B細胞プロファイルを示す。MHCクラスIおよびクラスII分子の強い発現□、抗原提示能が保持されていることを示唆する。 個々のクローンに応じて、CD27 ′ CD38 ′ CD138などの分化関連マーカーの発現が変動し、B細胞成熟の異なる段階を反映することが観察される。 T細胞マーカー□陰性であり、系統特異性が確認されている。
機能的に□ ′ B-LCL-HROC277□特定のアイソタイプ（例： IgG ′ IgM ′ IgA）の免疫グロブリンを分泌し、長期培養中も安定して維持される。 分泌された抗体□培養上清から回収可能であり、抗原結合アッセイ、腫瘍細胞認識研究、疾患関連抗原の同定など、下流応用に使用できる。EBV不死化B細胞モデルとして、B-LCL-HROC277□腫瘍免疫学や全身性免疫応答の文脈における体液性免疫応答、 B細胞活性化・分化、抗体媒介メカニズムを調査するための堅牢な in vitroプラットフォームを提供する。

ティッシュ	末梢血
病気	癌腫

同義語

- B-LCL CO277
- Bc HROC277

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	2

特徴

形態学	丸い細胞
細胞の種類	Bリンパ芽球

識別子

引用

B-LCL-HROC277（Cytion カタログ番号 300867）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_YD54

発現と感受性

表面抗原

CD19

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

ウイルス

形質転換体EBV

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10%熱不活性化FBSを添加する。

継代培養

フラスコ内の細胞懸濁液をピペッティングにより上下に優しく均質化し、代表的なサンプルを採取して1mlあたりの細胞密度を測定する。新鮮な培養液で懸濁液を希釈し、細胞濃度を1×10^5細胞/mlに調整した後、調整した懸濁液を新たなフラスコに分注し、さらなる培養を行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	77年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた □安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

第三者との契約が適用されます	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB